

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	事業所と地域のつながり ご利用者が子供達との触れ合いを喜ばれることから、今後は、地域保育園や幼稚園、小学生等の子供達との交流方法を検討していく予定である。	子供達とのふれあいの機会をつくる。	運営推進会議にて、地域における子供達とのふれあいの場面設定の方法や連絡調整手段を、話あっていく。	6 ヶ月
2	3	運営推進会議を活かした取り組み 現在、19時から運営推進会議を開催しているが、今後は、家族が参加しやすい時間をアンケートするとともに、「身体拘束」等を含めた勉強会を企画し、より多くの方に参加して頂ける方法を検討していく予定である。	運営推進会議への家族が気軽に参加できる。	①家族へ、運営推進会議参加しやすい時間帯や曜日等の確認作業。② 運営推進会議にて、家族の参加しやすい方法や運営推進会議メンバーに、意見や考えかたを、検討する。	6 ヶ月
3	5	身体拘束をしないケアの実践 今後も、更に身体拘束に関する勉強会を職員同士で、行っていきいたいと考えている。利用者個々のアセスメントを丁寧に行い、身体拘束廃止にむけた取り組みを行う予定である。	身体拘束をしないケアについて、学ぶ。	身体拘束をしないケアの研修を行う。	6 ヶ月
4	13	チームでつくる介護計画とモニタリング ご本人の能力(有する能力。できそうな能力)等をアセスメント用紙に記録し、解決策の検討や介護計画を活かすとともに、職員全員でアセスメントや介護計画作りに参加し、短期目標も具体化していく予定である。	チームでつくる介護計画とモニタリングの完成度を高める。	①アセスメント・モニタリングの一步進んだ学習会実施。②利用者本人の意向が詰まった介護計画を、職員全員で作成。	6 ヶ月
5					ヶ月